

話題となった発掘調査成果・まち歩きのご紹介！

上野原縄文の森

上野原縄文の森第70回企画展 「新発見！かごしまの遺跡 2024 ～発掘調査速報展～」

令和5年度、県内で発掘調査や報告書の刊行を行った遺跡の中から、大隅地方で初めて縄文時代晩期の南島系土器が出土した萩ヶ峰遺跡（鹿屋市）など話題となった遺跡を中心に最新の成果を紹介します。



【縄文時代晩期の土器（萩ヶ峰遺跡・鹿屋市）】

開催期間

10月5日（土）～12月8日（日）

開催場所

上野原縄文の森展示館企画展示室

料金

利用料金	大人	高・大学生	小・中学生
個人	320円	210円	150円

※ 詳細はホームページをご覧ください。

企画展講演会（かごしま遺跡フォーラム）

令和5年度、注目された遺跡の調査速報を行います。

日時：11月2日（土）13：00～16：00

場所：県立図書館 大研修室

講師：県立埋蔵文化財センター職員

（公財）鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター職員

定員：200人程度

参加料：資料代100円

※ ホームページからの事前申し込みが必要です。

上野原縄文の森考古学講座第4回 「古の海岸線を歩く ～鹿児島神宮周辺を巡る～」

縄文時代早期の貝塚である「宮坂貝塚」や古の海岸線の痕跡が残る鹿児島神宮周辺を歩きながら、縄文時代から現代までの環境の変化について解説します。



【鹿児島神宮】



【宮坂貝塚（霧島市）】

開催日時

10月26日（土）10：00～12：00

講師

鹿児島大学名誉教授 森脇 広氏

定員

40人程度

※ ホームページからの事前申し込みが必要です。

料金

参加料200円

場所

鹿児島神宮周辺（霧島市隼人町内）

※ 集合場所は、申込み時にお伝えします。



【昨年度の実施風景：霧島市福山町】